

## ご挨拶

この度、第42回日本生理心理学会大会につきまして、株式会社資生堂 未来開発研究所がお引き受けすることになりました。企業の研究所での日本生理心理学会大会の開催は今回が初の試みです。来る2024年5月24日（金）から5月26日（日）に資生堂グローバルイノベーションセンター（横浜みなとみらい）にて開催いたします。24日（金）には若手会企画による若手向けキャリアイベント「企業で研究するということ」を開催いたします。

本大会のテーマは「美とイノベーションの生理心理学」といたしました。生成AIやXR（クロスリアリティ）など科学技術の急速な発展により、人々の生活や心の在り様も大きく変わっています。その変化に呼応し、生理心理学においても実社会に役立つ応用と展開が求められています。イノベーションは基礎研究の積み上げのもと、世の中の必要や課題解決に迫られて新しい組み合わせや複合から生まれます。1968年の第1回生理心理学懇話会からスタートとした本学会にはその当時から自由なディスカッションの中にイノベーターとしての気概があったように想像します。変化の激しい時代に生きる人々の不安を払拭し、生活や心を豊かにするため、諸先輩方の歴史と軌跡を土台として、生理心理学におけるイノベーションのヒントを皆さまと共に考えたいと思います。

一方、心の豊かさには科学技術だけではなく、美を感じるといった感性も重要であることは言うまでもありません。自らの感覚と感性を通して感じられる美や快は心に響き、安寧とゆとり・豊かさにつながります。心理学と生理学が融合した生理心理学には美や快を感じることを紐解くことが可能な心や生体、行動のさまざまな計測技術があり、その進化も目覚ましいものがあります。生理心理学の役割や成果はアカデミアに留まらず、産業連携とともに商品やサービスの社会実装として人々に還元すべきものであると同時に、人々の期待に充分応えられるものと確信しています。

大会の開催場所は“美のひらめきと出会う場所”がテーマの美の複合型体験施設です。私たち大会準備委員会一同は、皆さまに「美とイノベーション」を感じて考える充実した時間をお過ごしいただけるように万全な準備に努めます。海からの風がこころよい会場で皆さまとお会いできることを心から楽しみにしております。

第42回 日本生理心理学会大会  
大会長 <sup>たが</sup>互 恵子

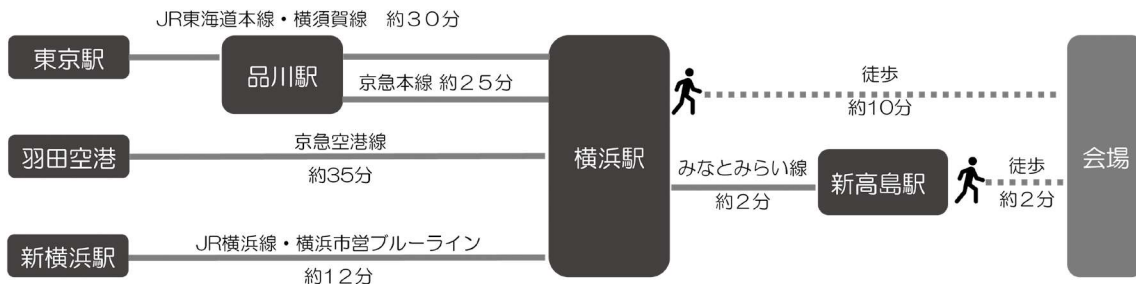
## 大会会場へのアクセス

会場：資生堂グローバルイノベーションセンター

〒 220-0011 神奈川県横浜市西区高島 1 丁目 2-11

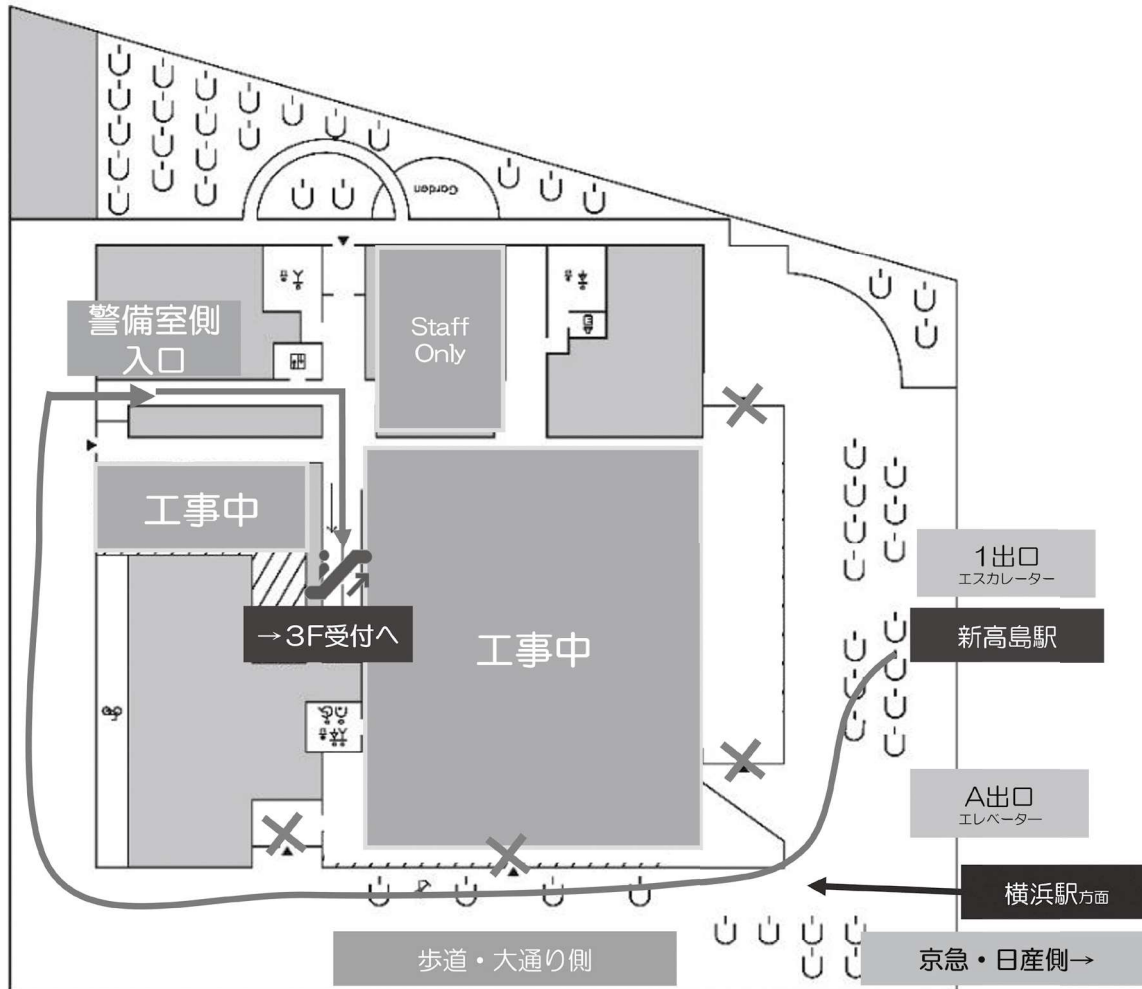
- 横浜駅（JR東海道本線、JR京浜東北線、JR根岸線、JR横須賀線、JR湘南新宿ライン、横浜市営地下鉄ブルーライン、東急東横線、京急本線、相模鉄道本線、横浜高速鉄道みなとみらい線）から徒歩約10分
- 新高島駅（横浜高速鉄道みなとみらい線）1番出口（エスカレーター）、2番出口（階段）、A出口（エレベーター）を出てすぐ

### 主要駅と羽田空港、および最寄り駅からのアクセス



# 会場内案内図

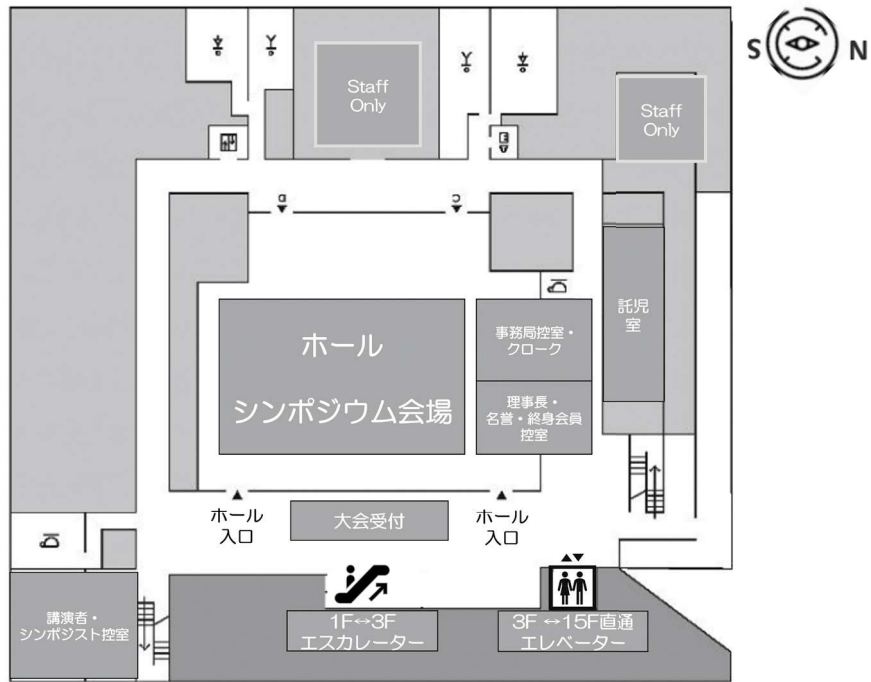
1F 入口



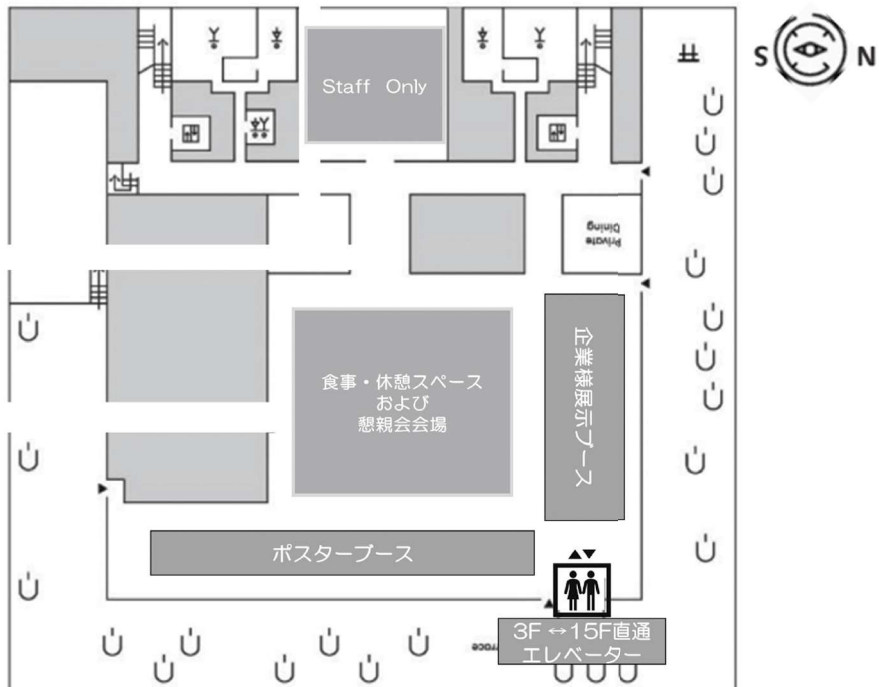
※ 1F は改修工事中です。

皆さまにはご不便と騒音などご迷惑をおかけしますが  
ご理解いただきますようお願い申し上げます。

### 3F ホール



### 15F カフェテリア

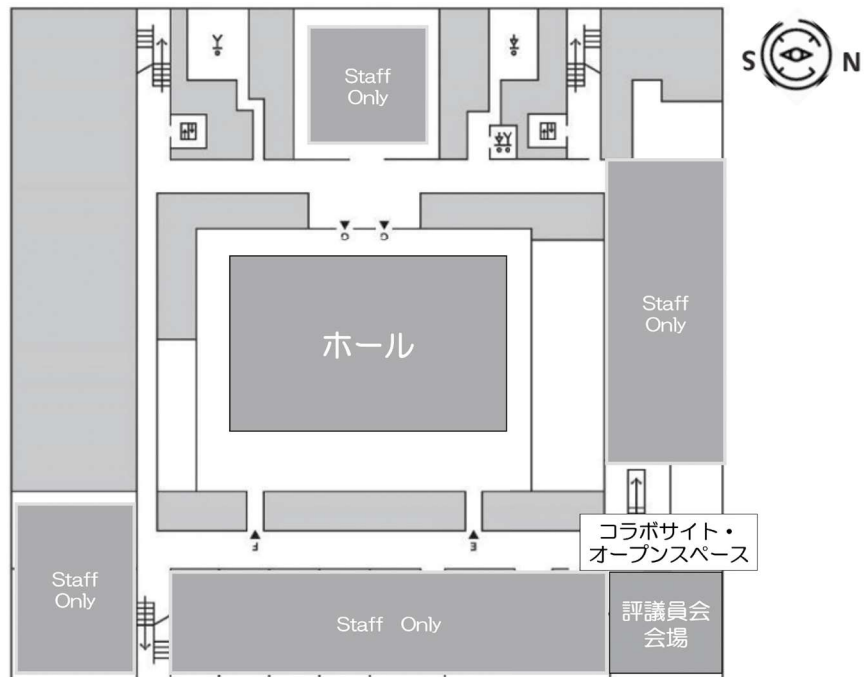


## 2F PLAZA



## 4F コラボサイト・オープンスペース

※立ち入りには資生堂社員の同伴が必要です。



# 大会スケジュール

第42回日本生理心理学会大会 2024年 JSPP2024 日程表			
開催場所：資生堂グローバルイノベーションセンター			
2024年4月26日版			
Time	プレカンファレンス 5月24日(金) プレカンファレンス	大会1日目 5月25日(土) 大会1日目	大会2日目 5月26日(日) 大会2日目
8:30			ポスター掲示(8:30-17:20)
9:00		ポスター掲示(9:00-17:15)	
9:30		ポスター発表A 09:30-11:30 15F：カフェテリア	シンポジウム2 社会実装と生理心理学 9:00-11:00 3F：S/PARKホール
10:00			
10:30			
11:00			
11:30			総会 11:10-12:10 3F：S/PARKホール
12:00		真昼の若手会 12:00-13:15 2F：PLAZA 評議員会 12:00-13:15 4F：コラボサイト・オープンスペース	
12:30			シンポジウム3 美と感性と生理心理学 12:40-15:05 3F：S/PARKホール
13:00			
13:30			
14:00			
14:30		招待講演 イノベーションとその産業化 13:50-14:50 3F：S/PARKホール	
15:00	若手の集い 企業で研究すること 15:00-18:00 3F：S/PARKホール 「S/PARK見学」 1F-3F：S/PARK (編集委員会) 15:00-16:30 (理事会) 16:40-18:10 2F：PLAZA		ポスター発表B 15:20-17:20 15F：カフェテリア
15:30		シンポジウム1 イノベーターと生理心理学 15:15-17:15 3F：S/PARKホール	
16:00			
16:30			
17:00		懇親会 17:30-19:30 15F：カフェテリア	
17:30			
18:00			
18:30			
19:00			
19:30		協賛企業さま展示・販売 (終日) 15F：カフェテリア	協賛企業さま展示・販売 (終日) 15F：カフェテリア

編集委員会：5月24日(金) 15:00 - 16:30 2F PLAZA

理事会：5月24日(金) 16:40 - 18:10 2F PLAZA

評議員会：5月25日(土) 12:00 - 13:15 4F コラボサイト・オープンスペース

## 大会参加者へのご案内

### 1. 大会受付

場所：株式会社資生堂 グローバルイノベーションセンター 3Fホール前

詳細は会場案内図をご覧ください

日時：2024年5月24日（金） 14：30～18：20

2024年5月25日（土） 9：00～17：45

2024年5月26日（日） 8：30～17：30

### 2. 受付手続き

#### 大会の受付

##### (1)予約参加・通常参加申し込み済の方

- ・受付に立ち寄り、ご自身で事前にダウンロードして印字した参加証（名札）を提示してください。参加者名簿・会員名簿と照合させていただきます。ネームホルダーをお渡しします。
- ・大会中は、参加証を必ず身に付けてください。
- ・参加費および懇親会費の支払いがお済みでない方、また、口座振り込みで参加申し込みをされた方は、受付にお立ち寄りください。

##### (2)当日参加の方

- ・大会期間中も大会ホームページ内、参加登録フォームにて必要事項をご記入し、参加費をお支払いいただくことも可能です。クレジットカード、Apple Pay、Google Payのいずれかの方法での決済となります。
- ・大会中は受付でお渡しします、参加証（名札）にご記入いただき、必ず身に付けてください。ネームホルダーもお渡しします。
- ・参加費および懇親会費の支払いがお済みでない方は、受付にお立ち寄りください。

##### (3)名誉会員の方および終身会員の方

- ・受付にて、お申し出ください。

##### (4)懇親会の受付

- ・懇親会は、5月25日（土）の17：30より、15Fカフェテリアにて開催します。15Fカフェテリアへは、3Fから専用の直通エレベータを使っていただきます。開場は17：20からです。

### 3. 参加費

#### (1)大会参加費

大会参加費は下記の通りです。学部生・大学院生の方は、受付にて学生証をご提示ください。ご提示いただけない場合は、一般の費用をお支払いいただく場合がございます。

登録区分	予約参加登録 1/15～4/23	通常参加登録 4/24～5/26
正会員（一般・院生）	5,500円	6,500円
非会員（一般・院生）	6,500円	7,500円
学部生	無料	無料

※税区分について正会員（一般・院生）、学部生は不課税、非会員（一般・院生）は税込（10%）となります。

#### (2)懇親会費

- ・ 懇親会費は、参加登録時にお支払いをお願いいたします。
- ・ 定員に達しましたら、懇親会への参加登録は締め切らせていただきます。

### 4. クローク

- ・ クロークは、3F大会準備委員会控室内です。
- ・ 利用可能日時は以下です。

5月25日（土）9：00～17：45

5月26日（日）8：30～17：30

（5月24日（金）プレカンファレンスでは設けておりませんのでご注意ください。）

- ・ 貴重品の管理はご自身でお願いいたします。

### 5. 各種お知らせ

#### (1)総会

大会2日目の26日（日）11：10～12：10に3Fホールにて行われます。大会に参加されている会員の皆さまはどうぞご参加ください。

#### (2)委員会等各種会合

大会ホームページのスケジュールおよび下部（6ページ）に記載しております。関係の皆さまは万障お繰り合わせの上、ご出席ください。



### (3)真昼の若手会

日本生理心理学会では、若手研究者の研究活動の促進を目的に、若手研究者同士の交流と懇親を行っています。若手研究者の皆さま、お誘い合わせの上ぜひご参加ください。

### (4)展示・販売

協賛企業さまによる機器展示および販売は、15Fカフェテリアにて行われます。ぜひお立ち寄りください。

### (5)昼食

1Fカフェは現在、改装中です。大会期間中は、近隣のレストランやコンビニをご利用ください。オフィス街のため、検索サイトなどでご確認ください、ご利用いただくことをお勧めします。なお、総会とシンポジウム会場の3Fホールは水以外の飲食は厳禁です。ご注意ください。

### (6)無線LAN

施設内のゲスト用 wifi のご利用が可能です。SSID とパスワードは会場内の掲示をご確認ください。なお、利用状況によってはつながりにくくなることがございますので、ご容赦ください。

### (7)託児室

大会期間中は、託児業者に委託して託児室を開設しております。事前申込制ですので、ご利用を希望される方は、大会ホームページにある「参加登録」ページ下部の「託児室 [事前申込制]」をご確認いただき、申込期限までに大会事務局へご連絡ください。

### (8)その他

- ・ 施設内に一般の方が利用できる駐車場や駐輪場はございません。
- ・ 施設内は禁煙です。近隣施設の喫煙所などについては、当日、大会スタッフまでお問い合わせください。
- ・ 大会当日の大会委員会へのご連絡は、第42回日本生理心理学会大会事務局<jspp2024-group@shiseido.com>へお願いいたします。発表取り消しなど、緊急のご用件にのみご利用ください。

## 研究発表者へのご案内

### 1. ポスター発表

- ・ ポスター発表は、15Fカフェテリアにて行われます。15Fカフェテリアへは、3Fから専用の直通エレベータを使っていただきます。ポスターはご自身の演題番号が付いたパネルに発表時間までに掲示してください。発表番号の前のアルファベットがAの場合は大会1日目、Bの場合は大会2日目の発表です。
- ・ ポスターボードのサイズは、縦210cm×横90cmです。このサイズに収まる大きさでご準備ください。ポスター最上段に、発表題目と発表者全員の氏名及び所属を記載してください。連名での発表の場合は、主発表者の前に○をつけてください。
- ・ ポスター貼り付け用のピンは会場に用意しております。
- ・ 会場内での印刷は致しかねますので、事前にご準備ください。
- ・ 両日のポスターセッション（120分間）における発表者の責任在席時間は、発表番号が奇数の方は前半の60分間、偶数の方は後半の60分間とします。
- ・ ポスター会場は、発表時間にかかわらず、下記時間帯にご使用できます。  
[大会1日目] 5月25日（土）9：00～17：15  
[大会2日目] 5月26日（日）8：30～17：20
- ・ 発表者の方は上記時間帯にポスターを掲示し、自由にディスカッションしていただけます。なお、時間を過ぎても掲示されているポスターは大会実行委員会が撤去・処分いたしますので、ご了承ください。

### 2. ポスター発表の大会発表論文集原稿の提出について

本大会における発表を公式に記録するためには、下記3点が必要となります。

- ① 研究発表登録と予約参加申し込み
- ② 本大会における発表
- ③ 発表論文集原稿の提出

大会発表論文集原稿の提出期限、および提出先の詳細は下記の通りです。

- (1)大会発表論文集原稿の「投稿チェックおよびテンプレート」のファイルを大会ホームページ内の「大会発表論文原稿提出」ページからダウンロードしてください。
- (2)同ページ内「大会発表論文原稿提出はこちら」より原稿（Wordファイル）をアップロードしてください。その際、ファイル名は「演題番号-申込者氏名」にしてください（例：「A1-生心太郎」）。投稿時に申込者氏名とメールアドレスをご入力ください。
- (3)受付期間中（2024年5月26日（日）23：59まで）は何度でも差し替えが可能です。差し替える場合は、新しいファイルを再アップロードしてください。アップロードされた最も新しいファイルが入稿されます。

(4)大会発表論文原稿提出に関するお問い合わせは、編集事務局<jjppp@seirishinri.com>へメールでお知らせください。本件は大会事務局の担当ではありませんので、お問い合わせの際はご注意ください。

### 3. 招待講演・シンポジウム

- ・ 開始時間の30分前に3F控室に集合していただきます。控室は当日、ご案内いたしますので、会場に到着次第、3F会場受付にお申し付けください。
- ・ 3Fホールにおいて、HDMIケーブルを接続し、発表者ご自身が持参したノートPCを使用できます。
- ・ 予備としてWindowsノートPC1台を用意します。使用可能なソフトウェアはPowerPointもしくはPDFです。会場のノートPCをご使用される方は、USBをご準備の上、事前にPCにファイルをコピーしてご発表ください。
- ・ Macの場合は、変換ケーブルをご持参していただき使用が可能ですが、あらかじめ動作確認をお願いいたします。
- ・ シンポジウムの進行は、各シンポジウムの座長よりご案内いたします。
- ・ Q&A はSlidoも使ってリアルタイムに行います。

### 4. 発表の取り消しについて

何らかの事情で、参加および発表の取り消しをご希望される方は、第42回日本生理心理学会大会事務局 <jspp2024-group@shiseido.com> まで、お早めにご連絡ください。なお、参加および発表申込期限内に登録を完了されている場合は、いかなる理由でも参加費の返金はいたしませんのでご了承ください。

# 発表プログラム

## 招待講演

5月25日(土) 13:50~14:50 3Fホール

イノベーションとその産業化 ―AI新時代における人間の価値とは―

富田勝 (慶應義塾大学名誉教授、鶴岡サイエンスパーク代表理事)

座長：互恵子 (株式会社資生堂 未来開発研究所)

## シンポジウム

### シンポジウム1: イノベーターと生理心理学

5月25日(土) 15:15～17:15 3Fホール

座長:

大平英樹(名古屋大学大学院 情報学研究科)

現実とはなにか

藤井直敬(株式会社ハコスコ 代表取締役、デジタルハリウッド大学大学院)

アイデアラボの取り組みとイノベーション

澤井大樹(株式会社アイデアラボ 代表取締役)

”ココロの整容”を支えるニューロテクノロジーの現状と未来

茨木拓也(株式会社NTTデータ経営研究所 ニューロイノベーションユニット  
アソシエイトパートナー、VIE株式会社 執行役員最高脳科学責任者)

### シンポジウム2: 社会実装と生理心理学

5月26日(日) 9:00～11:00 3Fホール

座長:

成瀬康(情報通信研究機構 未来ICT研究所脳情報通信融合研究センター 脳機能解析研究室)

脳波・心拍計測と心理モデルを用いた感情推定手法とその応用

菅谷みどり(芝浦工業大学 工学部情報工学科)

実社会における脳波データの蓄積と脳科学技術の社会実装によるウェルビーイングへの期待

町澤まる(株式会社Xiberlinc 代表取締役)

サイバーフィジカル社会における新しい身体体験のデザイン: DE&Iの観点から

大山潤爾(産業技術総合研究所、筑波大学 人間総合科学研究科連携大学院)

### **シンポジウム3: 美と感性と生理心理学**

5月26日（日）12：40～15：05 3Fホール

座長：

岡崎俊太郎（株式会社資生堂 みらい開発研究所）

美と畏敬の神経美学

石津智大（関西大学 文学部総合人文学科）

触質感と感情の関係性 ―社会的触覚の側面から―

北田亮（神戸大学大学院 国際文化学研究科）

美味しさの認知神経科学

坂井信之（東北大学大学院 文学研究科）

なぜ私たちは顔に魅了されるのか

中野珠実（大阪大学大学院 情報科学研究科）

## 日本生理心理学会若手会企画 第9回 若手の集い

若手向けキャリア・シンポジウム:「企業で研究すること」

5月24日(金) 15:00~18:00 3Fホール

企画者: 日本生理心理学会若手会幹事会

木村司 (大阪大学)

伏田幸平 (産業技術総合研究所)

伊崎翼 (高知工科大学)

山川香織 (東海学園大学)

### 【講演1】

心理生理学者の働く場所

— 大学教員・研究所研究員・企業インターンシップの経験から —

伏田幸平 (産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門)

### 【講演2】

企業で研究する実験心理学

池田華子 (株式会社資生堂 未来開発研究所)

### 【講演3】

企業での研究

— 「ロボットとの親和的関係性構築によるオキシトシン、コルチゾール分泌への影響」を例として —

今村周平 (株式会社資生堂 未来開発研究所)



## 一般研究発表 ポスター発表 A

大会1日目 5月25日 (土) 9:30~11:30

A1: 観察個体-刺激個体間の親和性の違いがラットの向社会的行動におよぼす影響

山岸厚仁 仁愛大学人間学部心理学科

水田敏郎 仁愛大学人間学部心理学科

大森慈子 仁愛大学人間学部心理学科

森本文人 仁愛大学人間学部心理学科

A2: ラットのストレス誘発性増強の薬理的阻害が脳形態変化に及ぼす影響

領家梨恵 東北大学加齢医学研究所

川島隆太 東北大学加齢医学研究所

A3: コーヒー摂取習慣と唾液コルチゾール反応の関係:

トリーア社会的ストレステストオンライン版を用いた検討

上野将玄 公益財団法人たばこ総合研究センター

A4: 数の大きさが空間的注意に及ぼす影響

小川時洋 科学警察研究所情報科学第一研究室

常岡充子 科学警察研究所情報科学第一研究室

高橋玲央 科学警察研究所情報科学第一研究室

A5: アイトラッカーを用いた中心視野内外の視線解析による視認性評価方法の確立

山中音波 中央大学大学院理工学研究科

檀一平太 中央大学工学部人間総合理工学科教授

久徳康史 中央大学研究開発機構教授

桑原志門 中央大学大学院理工学研究科

仁瓶梨奈 中央大学大学院理工学研究科

山本裕希 中央大学大学院理工学研究科

**A6: 痛覚変調性疼痛傾向と認知的制御の関連性—痛みの生起に関する検討—**

有馬彩乃 慶應義塾大学大学院社会学研究科

梅田聡 慶應義塾大学文学部

**A7: 多次元時系列クラスタリングによる個人の感情の変動の分類**

池島俊季 ポーラ化成工業株式会社

水越興治 ポーラ化成工業株式会社

**A8: 動物画像の感情価とサイズが接近—回避の姿勢反応に及ぼす効果—**

中村野々香 大阪大学大学院人間科学研究科

郷原皓彦 大阪大学大学院人間科学研究科

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**A9: 感情的なシナリオをともなう中立顔を見たときの顔面EMG反応**

中村杏奈 東京女子大学現代教養学部

田中章浩 東京女子大学現代教養学部

**A10: 柔らかいクッションを抱くことが情動画像を見るとき表情筋活動に与える影響**

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

北村明日香 大阪大学大学院人間科学研究科

井原なみは 大阪大学大学院人間科学研究科

**A11: ポジティブな心理特性が歩行パターンに及ぼす影響:3ヶ月間のライフログ分析による研究**

寺田木香野 千葉大学大学院融合理工学府先進理化学専攻、量子科学技術研究開発機

構量子生命・医学部門量子医科学研究所脳機能イメージング研究部

平尾貴大 量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門量子医科学研究所脳機能イ

メージング研究部

井上昌彦 株式会社NTTデータ経営研究所

磯村昇太 株式会社NTTデータ経営研究所

濱田太陽 株式会社アラヤ

萩原一平 一般社団法人応用脳科学コンソーシアム

山田真希子 量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門量子医科学研究所、量子

医科学研究所脳機能イメージング研究部

A12: 腸内環境(便秘)における体内から発生する皮膚ガス特徴と吸入による皮膚血流変化・肌との関係  
勝山雅子 株式会社資生堂みらい開発研究所

A13: 反応時間による隠匿情報検査の可能性—自我関与刺激による検討—  
水師葉月 広島修道大学大学院人文科学研究科  
古満伊里 広島修道大学健康科学部

A14: 足浴による介入の生理・内分泌・心理的効果—ランダム化比較試験による検討—  
山崎果歩 早稲田大学大学院文学研究科  
宮田裕光 早稲田大学文学学術院

A15: The Verification of the Effects of Hinoki Oil Aroma on Skin Barrier Recovery and Sleep  
宗像大朗 株式会社資生堂みらい開発研究所  
互惠子 株式会社資生堂みらい開発研究所  
本橋亜衣 株式会社資生堂ブランド価値開発研究所  
駒野朋子 株式会社資生堂ブランド価値開発研究所  
川端ダンカンキース 株式会社資生堂みらい開発研究所

A16: オンラインコミュニケーションにおける話者の不安とパラ言語的特徴との関連  
盛雨 東京工業大学環境・社会理工学院  
永岑光恵 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院

A17: 思考を映す身体 —思考状態と自律神経活動のゆらぎの関連性—  
櫻木麻衣 日本学術振興会特別研究員DC1・慶應義塾大学社会学研究科  
品川和志 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート  
梅田聡 慶應義塾大学文学部

A18: 筆記時のメモ媒体の違いが記憶と生理指標に与える影響—タブレットとノートへの筆記時の比較—  
岡本尚子 立命館大学産業社会学部  
吉岡篤志 コクヨ株式会社グローバルステーションリー事業本部開発本部  
神鳥遼人 コクヨ株式会社グローバルステーションリー事業本部開発本部  
椿裕尊 コクヨ株式会社グローバルステーションリー事業本部開発本部

A19: 心拍変動バイオフィードバックにおける共鳴周波数の評価—連続的なペース呼吸の検討—

榊原雅人 愛知学院大学心理学部

A20: おもしろさの主観評価と生理的变化の関係

國分愛莉 東京理科大学創域理工学部(既卒)

安達勁亮 東京理科大学創域理工学研究科

小黒-安藤麻美 エクセター大学医学部

市川寛子 東京理科大学創域理工学研究科

A21: 自律系指標を用いた隠匿情報検査における符号化時の覚醒の効果—閾下提示の検討—

大杉朱美 福山大学人間文化学部

A22: 化粧と化粧への関心によるヴィジランスへの影響

川崎勝義 星薬科大学

永塚舞子 星薬科大学

A23: 知覚されたストレスの程度と2週間の皮膚温、血圧の変化についての検討

古谷真樹 神戸大学大学院人間発達環境学研究科

福田博也 神戸大学大学院人間発達環境学研究科

佐藤幸治 神戸大学大学院人間発達環境学研究科

近藤徳彦 神戸大学大学院人間発達環境学研究科

A24: 感覚処理感受性と共感性および生理的喚起水準の関連(2)

吉村悠希 仁愛大学大学院人間学研究科

大森慈子 仁愛大学人間学部心理学科

水田敏郎 仁愛大学人間学部心理学科

A25: 水泳時の呼吸頻度の相違が認知機能に及ぼす影響

白井祐介 東海学園大学スポーツ健康科学部

長谷川加歩 東海学園大学スポーツ健康科学部

A26: 統合情報量Φは意識状態と連動するか—睡眠時のEEG-fMRI同時測定データによる検証—

小野田慶一 追手門学院大学心理学部

赤間啓之 東京工業大学

寒重之 立命館大学

宮内哲 関西医科大学

A27: 視覚刺激の欠落によって生じる電位は網膜部位対応を示さない

石田友美 大阪大学大学院人間科学研究科

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

A28: デスクワーク中の作業態度のフィードバックが心拍と情動に与える影響

市川寛子 東京理科大学創域理工学研究科

瀧澤史成 東京理科大学創域理工学部

A29: 妨害工作によるP300振幅を指標としたCITへのDark Triadの影響

平伸二 福山大学人間文化学部

濱本有希 福山大学人間文化学部

大杉朱美 福山大学人間文化学部

A30: 上肢模倣動作とミラーニューロンシステムの関連性

水野寛太 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

平林霞 早稲田大学スポーツ科学部

正木宏明 早稲田大学スポーツ科学学術院

A31: 報酬情報処理のタイミングを示す島皮質の右脳優位性の消失

小谷泰則 東京工業大学環境・社会理工学院

大上淑美 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院

影山肇 東京大学医科学研究所・駒澤大学大学院医療健康科学研究科

吉田宜清 新潟医療福祉大学診療放射線学科

赤井宏行 東京大学医科学研究所

國松聡 国際医療福祉大学医学部

桐生茂 国際医療福祉大学医学部

井上優介 北里大学医学部

- A32: フィードバック隠匿情報検査における心理的カウンタメジャーの影響  
小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科  
亀井穂果 広島大学総合科学部
- A33: フランカー課題における比率一致性が刺激中心部の逸脱処理に与える影響  
鈴木浩太 四天王寺大学教育学部
- A34: レム睡眠中の急速眼球運動と覚醒時のサッケードの運動形態の類似性に関する検討  
石橋章汰 広島大学大学院人間社会科学研究科  
小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科
- A35: 超小型ワイヤレスDC21チャンネルデジタル脳波計を使用したP300の計測の試み  
栗田俊治 イーストメディック株式会社
- A36: 機械学習と計算論的音楽解析により探る音階の脳情報処理  
森数馬 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構・量子医科学研究所
- A37: 男性メイクが第一印象に与える影響—ERPを用いた検討—  
橋本翠 吉備国際大学心理学部心理学科
- A38: 脳波と鼓膜温を用いた自動車ドライバーの認知と感情・動機づけの評価の試み  
杉本史恵 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門  
木村元洋 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門  
赤松幹之 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門
- A39: Emotion mapによる生理計測値を用いた感情の可視化手法の改善  
中川友梨 芝浦工業大学大学院理工学研究科  
TippornLaohakangvalvit 芝浦工業大学工学部先進国際課程  
松原惇高 株式会社資生堂みらい開発研究所  
互惠子 株式会社資生堂みらい開発研究所  
菅谷みどり 芝浦工業大学工学部情報工学科

A40: fNIRSによるニューロマーケティング:情報隠匿課題(CIT)の適用可能性

檀一平太 中央大学工学部人間総合理工学科

A41: 聴覚P3aの増大は逸脱刺激の処理抑制ではなく注意捕捉を反映する—聴覚3刺激オドボール課題を用いた検討—

真田原行 関西学院大学文学部

嶋田守弘 関西学院大学文学部

片山順一 関西学院大学文学部・同大学応用心理科学研究センター

A42: 手の所有錯覚に運動前野が果たす因果的役割を再考するためのデザイン分析

山縣豊樹 北海道大学大学院文学研究科

水鳥翔伍 北海道大学大学院文学院

小川健二 北海道大学大学院文学研究院

A43: fNIRS計測によるGo/No-go Association Task(GNAT):実験デザインの妥当性検証

田中日花里 中央大学理工学研究科

新岡陽光 中央大学研究開発機構

久徳康史 中央大学研究開発機構

檀一平太 中央大学工学部人間総合理工学科

## 一般研究発表 ポスター発表 B

大会2日目 5月26日（日） 15：20～17：20

**B1: 母性行動を誘発する子コウモリの発声パターン**

奈良紫月 同志社大学大学院生命医科学研究科  
西内唯夏 同志社大学大学院生命医科学研究科  
橋澤(吉野)寿紀 同志社大学大学院生命医科学研究科  
小林耕太 同志社大学大学院生命医科学研究科  
飛龍志津子 同志社大学大学院生命医科学研究科

**B2: 大学生の人格的成長感に対するストレスコーピングスタイルと生理心理学的反応との関連性**

新牧恭太 久留米大学大学院心理学研究科  
松井あずさ 久留米大学大学院心理学研究科  
矢島潤平 別府大学文学部  
岡村尚昌 久留米大学文学部

**B3: 糖質吸収速度の低いゼリー飲料がeスポーツ時の空腹感と実行機能に及ぼす効果**

松井崇 筑波大学体育系/スポーツイノベーション開発研究センター  
高橋史穂 筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター  
山口峰史 筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター  
船橋大介 筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター  
今田隆将 森永製菓株式会社  
清水裕貴 森永製菓株式会社

**B4: 顔映像を用いた眼球運動・瞬目波形の計測手法とその応用**

大須賀美恵子 大阪工業大学ロボティクス&デザイン工学部  
竹内大樹 大阪工業大学大学院ロボティクス&デザイン工学研究科  
鎌倉快之 大阪工業大学情報科学部

**B5: アレキシサイミアにおける内受容感覚と概念の抽象化能力との関係について**

鈴木菜穂 慶應義塾大学大学院社会学研究科



梅田聡 慶應義塾大学文学部  
寺澤悠理 慶應義塾大学文学部

**B6: Wundtの情動理論再考(2):『生理学的心理学綱要』から150年**

高砂美樹 東京国際大学人間社会学部

**B7: 就寝時の音楽聴取が睡眠に及ぼす影響(2)**

福田一彦 江戸川大学社会学部・睡眠研究所

早川こすず 江戸川大学社会学部

**B8: かわいい動画の共同視聴における表情変化**

石倉杏莉 大阪大学人間科学部研究生

小野田慶一 追手門学院大学心理学部心理学科教授

入戸野宏 大阪大学人間科学研究科人間科学専攻教授

**B9: 意図的な表情模倣が表情からの感情認識に与える影響とASD傾向の関係について**

—モーションキャプチャーを用いた検討—

大岡昂太郎 慶應義塾大学文学部

後藤卓 慶應義塾大学文学部

板口典弘 慶應義塾大学文学部

寺澤悠理 慶應義塾大学文学部

**B10: 姿勢反応を指標とした隠匿情報検査についての探索的検討**

松田いづみ 青山学院大学教育人間科学部

OrtheyRobin 青山学院大学教育人間科学部

入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B11: 重回帰分析を用いた首尾一貫感覚(SOC)に関連するライフスタイルについて**

内田誠也 一般財団法人MOA健康科学センター

**B12: 人の嗜好に基づいた空間における体感評価**

原博子 大阪大学大学院情報科学研究科

岡嶋裕子 京都先端科学大学経済経営学部

松繁寿和 高松大学経営学部  
開発巳智子 国立大学法人大阪大学  
村田正幸 大阪大学大学院情報科学研究科

**B13: 炭酸水の飲用はeスポーツプレーによる認知疲労の回復を促進する**

高橋史穂 筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター  
小杉巨 アサヒ飲料株式会社  
水野征一 アサヒ飲料株式会社  
松井崇 筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター

**B14: 注意リソース配分,覚醒水準,エフォート動員の視点から自動車ドライバーの能力発揮状態を捉える**

木村元洋 産業技術総合研究所  
杉本史恵 産業技術総合研究所  
大貫正明 産業技術総合研究所  
赤松幹之 産業技術総合研究所

**B15: 刺激提示のタイミングに呼吸位相を合わせると恐怖表情の検出率は高まるか?**

水原啓太 関西大学大学院心理学研究科/大阪大学大学院人間科学研究科  
入戸野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B16: 他者との課題遂行によるストレス軽減効果の検討**

加藤公子 愛知淑徳大学

**B17: 社会的痛みに対する心周期の影響**

伊崎翼 高知工科大学経済・マネジメント学群  
日道俊之 高知工科大学経済・マネジメント学群  
榊美知子 Hector Research Institute of Education Sciences and Psychology,  
University of Tübingen

**B18: 温泉プールでの軽負荷運動が心拍数に及ぼす影響**

山田クリス孝介 東海大学スポーツ医科学研究所  
小山孟志 東海大学体育学部体育学科/スポーツ医科学研究所  
笹木正悟 東海大学体育学部体育学科/スポーツ医科学研究所  
山田洋 東海大学体育学部体育学科/スポーツ医科学研究所

**B20: サンプル点ごとに規準化脈波容積を求める試み**

山本直宏 山形県警察本部科学捜査研究所

**B21: 内受容感覚の敏感さと感覚処理感受性の関連**

赤間優月 東京理科大学創域理工学部

浅見百香 東京理科大学創域理工学部

市川寛子 東京理科大学創域理工学部

**B22: ストレス状況における自律神経系反応の知覚と感情体験は精神的健康とどのように関連するのか**

田中瑤子 東京工業大学環境・社会理工学院社会・人間科学系

永岑光恵 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院

**B23: Psychophysiological Signatures of Smartphone Addiction in University Students**

晴木祐助 北海道大学文学院心理学研究室

鈴木啓介 北海道大学人間知・脳・AI研究教育センター

小川健二 北海道大学文学院心理学研究室

**B24: ストレス課題の違いによる心臓血管反応への影響—連続血圧計を用いた検討—**

辻幸樹 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

品川和志 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

田仲祐登 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

梅田聡 慶應義塾大学文学部

**B25: 深呼吸と香りを組み合わせることによる心身への影響**

福喜多祐子 株式会社資生堂みらい開発研究所

濱田千加 株式会社資生堂みらい開発研究所

**B26: メロディ音の予測可能性が欠落時の事象関連電位に与える影響**

石田海 大阪大学大学院人間科学研究科, 日本学術振興会特別研究員

石田友美 大阪大学大学院人間科学研究科

入野野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B27: 課題非関連な周辺情報の逸脱に対する注意変動**

木村司 大阪大学大学院人間科学研究科

川島朋也 金沢工業大学情報フロンティア学部

**B28: 時間的不確実性に伴う反応遅延の原因解明: 偏側性準備電位による検討**

木村勇大 早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

正木宏明 早稲田大学スポーツ科学学術院

**B29: 化粧カウンセリングが自信に与える効果の検討**

照井里奈 福島大学大学院共生システム理工学研究科

高原円 福島大学共生システム理工学類

久保均 福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科

木村孝行 株式会社コーセー研究所メイク製品研究室

大塚千恵 株式会社コーセー研究所メイク製品研究室

市村千寛 株式会社コーセー商品開発部

宇田川史仁 株式会社コーセー研究所メイク製品研究室

藤原寿理 福島県立医科大学医学部システム神経科学講座

**B30: 両耳分離聴時のABRとLAEPに見られる注意修飾効果の検討**

池田一成 東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター

**B31: 教示刺激の顕著性がもたらす前部島皮質の右脳優位性**

大上淑美 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院

小谷泰則 東京工業大学環境・社会理工学院

影山肇 東京大学医科学研究所・駒澤大学大学院医療健康科学研究科

吉田宜清 新潟医療福祉大学診療放射線学科

赤井宏行 東京大学医科学研究所

國松聡 国際医療福祉大学医学部

桐生茂 国際医療福祉大学医学部

井上優介 北里大学医学部

**B32: 会話の相互満足度に影響する脳波応答と発話行動**

石井主税 国立研究開発法人情報通信研究機構

渡部宏樹 国立研究開発法人情報通信研究機構

成瀬康 国立研究開発法人情報通信研究機構

井原綾 国立研究開発法人情報通信研究機構

**B33: 標的刺激の呈示確率がオブジェクトベースの注意に及ぼす影響—事象関連電位を用いた検討—**

金田紗和 広島大学大学院人間社会科学研究所

**B34: 注意制御能力と聴覚過敏の関連についての予備的検討**

伊藤晴香 筑波大学大学院人間総合科学学術院障害科学学位プログラム

岡崎慎治 筑波大学人間系

**B35: バイノーラル音源とモノラル音源の聴取が視覚課題の遂行と心理生理反応に及ぼす影響**

新井奏音 大阪大学大学院人間科学研究科

石田海 大阪大学大学院人間科学研究科

入野野宏 大阪大学大学院人間科学研究科

**B36: 高圧ヘリウム酸素環境下における反応抑制能力について**

藤井達史 海上自衛隊潜水医学実験隊

**B37: 就学期児童の音韻カテゴリ知覚と事象関連電位**

内田真理子 中央大学文学部

篠原靖明 早稲田大学商学部

松井智子 中央大学文学部

池田一成 東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンター

藤野博 東京学芸大学教職大学院

東條吉邦 茨城大学教育学部

計野浩一郎 武蔵野東教育センター

**B38: サッカー方向、サッカー距離、および刺激弁別難度が眼球停留関連脳電位に及ぼす影響**

伏田幸平 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門

杉本史恵 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門

木村元洋 産業技術総合研究所人間情報インタラクション研究部門

**B39: 心拍弁別課題中における心拍誘発電位ーアレキシサミア傾向との関係性ー**

田仲祐登 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート

梅田聡 慶應義塾大学文学部

寺澤悠理 慶應義塾大学文学部

**B40: 高速な読みを支える皮質処理の時空間動態**

宇野智己 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

高野弘二 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

中村仁洋 国立障害者リハビリテーションセンター研究所

**B41: ピクトグラム観察時の脳活動に関する研究:事象関連脱同期を用いた検討**

池田悠稀 九州大学大学院芸術工学研究院、杏林大学保健学部

申夔敬 九州大学大学院統合新領域学府

徳永健太郎 九州大学芸術工学部

工藤真生 九州大学大学院芸術工学研究院

跡見友章 杏林大学保健学部

樋口重和 九州大学大学院芸術工学研究院

**B42: 複数他者表情の受動的観察時における処理過程の検討**

小林慧 北海道大学大学院教育学院、日本学術振興会

河西哲子 北海道大学大学院教育学研究院

**B43: 頭皮上脳波に観察される短潜時視覚処理成分とその空間的注意に対する反応**

松本敦 関西福祉科学大学心理科学部

竹川さくら 関西福祉科学大学心理科学部

**B44: おもてなしの熟練による表情認知過程の変化**

三木研作 愛知医科大学看護学部

竹島康行 自然科学研究機構生理学研究所

木田哲夫 愛知県医療療育総合センター発達障害研究所

柿木隆介 自然科学研究機構生理学研究所